日本勤労者山岳連盟・静岡県勤労者山岳連盟

裾野麗峰山の会（sine１９９４）

第２５期・7巻　　２０１９年　９月号　　ＮＯ．217

仲間と仲間を結ぶ機関誌

ゃ・ほう

Susono Reihou Alpine Club

残夏の山

まったりハイキング
２０１９．０７．３１
乗鞍岳

９月度例会　　２０１９．０８．３１　　生協２Ｆ　１６：００

１．　活動報告

個人山行	０８月２４日（土）～２５日（日）	西穂高（間ノ岳まで）＝２名
NO.１８３４	０８月２４日（土）	西丹沢＝屏風岩山・南尾根～畦ヶ丸・東南尾根～上権現山・北東尾根＝３名
まったりハイク	０８月２１日（水）	二ッ塚・上塚＝４＋２名
NO.１８２７	０８月１７日（土）	西丹沢・屏風岩山～畔ヶ丸＝４名
NO.１８２６	０８月０４日（日）	金峰山＝４名
まったりハイク	０７月３１日（水）	乗鞍岳＝５＋２名

２．　今後予定・・・・・・・各土曜日（悪天候の場合は日曜日）７・１４・２１＝山行あります。

８月	３１日（土）	例会
９月	０７日（土）	会山行
	１３日（金）	個人山行＝富士山・・・コケモモ＝担当・加藤
	１８日水）～２０日（金）　まったりハイク＝槍ヶ岳・槍沢ロッジ（泊）～東鎌尾根～槍ヶ岳～肩の小屋（泊）～槍沢　３＋１名	
	２９日（日）安全登山学習会	焼津市＝満観峰　９：００　花沢駐車場集合・・・車一台＝担当・後藤
１０月	１３日（日）	個人山行（まったり参加可）　パノラマ台＝担当・加藤
	０３日（木）～０５（土）	秋山合宿＝島々谷～徳本小屋かテント（泊）～霞沢岳～上高地＝担当・後藤
	２７日（日）安全登山講習会	清水区＝ふれあいホール　１３；３０～　「地図の読み方」講師＝静大教授・村越　真（車一台）
１１月	１０日（日）あさぎり山の会	３０年記念パーティー・・・・・富士宮（後藤）
	２４日（日）東部ブロック交流ハイク	山梨・羅漢寺山＝大型バス１台＝参加費３０００−＝担当・井上
	２３日（土）～２４日（日）	立山（みくりが池山荘・泊）６＋１名＝担当・加藤
１２月	０１日（日）	１２月例会
	２１日（土）	忘年会・山行・・・富士山・二ッ塚～温泉～合谷宅～ソバ打ち～忘年会＝担当・後藤
	２７日（金）～２９日（日）	冬山合宿・・・・・メンバーで決める＝担当・後藤

３．会計・・・・・・・・・・タープとブルーシート購入しました＝１３、７８０－支出しました。
４．リニア署名・・・・・・・井上・伊藤さん済（２０筆）
５．その他・・・・・・・・・Ｍさん、孫誕生

以上

６．寄贈会報

「あさぎり」あさぎり山の会　ＮＯ．314　８月号　Ａ4　Ｐ31　表紙・裏表紙はカラー・紙製本
金峰山・国師ヶ岳（大弛峠）、苗場山（赤湯温泉）、斜里岳・羅臼岳・雌阿寒岳＝ＭＴさん、雌阿寒岳で「深田百名山」終了。天女山、６/５富士山幕岩・ヤマシャクヤク、ほか。登山技術学習会・安全登山講習会・南 ALPS 写真展ビラ、など。

「あしたか」沼津勤労者山岳会　８月号　Ａ4　Ｐ6　紙製本
硫黄岳、八丁池（ハイキング講座）＝ヒキガエルとムラサキシジミを観察。ほか

「のいちご」伊豆ハイキングクラブ　８月号　NO.383　A4　P８　紙製本
巻頭言、会津駒ヶ岳、越前岳＝十里木・山神社道荒廃。八丁池、黒川鶏冠山、運営会報告・事務局だより、など

「山梨山の会」やまなし山の会　８月号　NO.２５７　P16　電子版
巻頭言＝道志村だより、運営委員会、釜無川左岸尾根＝一泊二日・倒木が多い・薄いが踏み跡あり・地図が欲しい。信玄棒道＝面白そう。地図が欲しい。6/23 入笠山＝ホテイアツモリソウ・クリンソウ。7/7 櫛形山＝フェンス内花多い。藻岩岳・雌阿寒岳＝雌阿寒でレイホーとニアミス。「いいもの見つけた」など。ほか、青年小屋・山落語、山梨日日新聞・山岳遭難例＝５月死者が６名。
阿寒岳＝雌阿寒でレイホーとニアミス。「いいもの見つけた」など。ほか、青年小屋・山落語、山梨日日新聞・山岳遭難例＝５月死者が６名。

「ハイキングだより」新潟・みちぐさハイキングクラブ　７月号　NO.３０８　P１２　電子版
尾瀬バスハイク＝会員１７名・一般２名・原の小屋で車座二次会・親睦、要害山山開き、母ちゃんと二人で山歩き＝山スキー試練、スイスだより、７月ハイク予定、白馬岳バスハイク予定、新発田の安全登山講習会。ほか、お知らせなど。
三島労山「事務局ニュース」2019/08/01　NO.475
夏山合宿＝4 名で鳳凰三山、夏山訓練＝城山、今後の予定、運営委員会報告、カレンダー、山行実績＝目的に「雨を楽しむ」あり、登山計画書、新人インタビュー、など。

７．登山時報に紹介された映画が来ます・・・・１０月、皆で観に行きます！！！

静岡シネギャラリー
2019/10/12～10/25　　「フリーソロ」・・・エルキャピタンのフリー（ノーザイル）ソロ

２０１９年・安全登山講習会

登山時報でおなじみ

「地図読み迷人・名人」

「今年こそ2万5千図を完璧に使いこなそう」と「よく分かる地図読み」

と　き　　2019年10月27日（日）
ところ　　静岡市・清水区役所内「ふれあいホール」　　13:00受付・開場
講義13：30～15:30　　15:30～16:00質疑応答
講　師　　静岡大学教授・村越　真氏
内　容　　「2万5千図の基本・見方・応用」
もちもの　　筆記用具・コンパス・登山時報
2019年1～6月号

村越 真（むらこし しん）
静岡大学教育学部教授（専門や認知心理学、アウトドアのリスク管理）。国立登山研修所専門調査委員。
日本オリエンテーリング協会顧問。南極地域観測隊員の父、山好きの母の下、登山やアウトドアに親しみ、オリエンテーリング競技の経験を積み、それをもとに読図・ナヴィゲーションスキルを体系化した。本年南極地域観測隊（第６１次）に参加予定。

無料駐車場 50 台

参加費　　無料
　　労山会員外大歓迎
主　催　　静岡勤労者岳盟
担　当　　教育遭対部
　　後藤（裾野麗峰山の会）
　　携帯　090-8956-9990

＊終了後、講師と懇親会があります。是非、ご参加下さい。

2019 年度・登山技術学習会「ベルクシュタット」開催案内

主催　静岡県勤労者山岳連盟
担当　教育遭難対策部

下記要領で県連主催の登山技術学習会「ベルクシュタット」を開催します。
昨年度をもって廃止した救助隊(ベルクバハト)に代わってスタートする新たな催しであり、
県連会員相互の技術交流・情報交換を目指したイベントです。

「誰でも参加出来ます・誰でも学べます・誰でも使えます」
ハイキング層の方　大歓迎です。是非ご参加ください。

日時　**2019 年 9 月 29 日（日）　9:00～16:00**

場所　**満観峰(焼津市)** … ルート等については次ページをご覧ください。

テーマ　**ハイキング中のセルフレスキュー技術の習得・情報共有**
- ・セルフレスキューの意義、応急処置の原則確認
- ・けが人をひとまず安全な場所に移動させる方法
- ・背負い搬送：様々な背負い方法を試して貰う予定です。
- ・担架搬送：その場にあるものを使って担架を作る方法
- ・意見交換

参加者　各会 3～4 名程度の参加をお願いいたします。(上限はありません。)
※理事の方は各会の参加人数の概要を 9/14(土)までに県連教育遭対部へご連絡ください。

申込方法　当日参加で結構ですが、参加者の情報は各会毎に管理・集約ください。

スケジュール　2019 年 9 月 29 日（日）
- 9:00　花沢観光駐車場集合　　※２か所あるうち南寄り(国道に近い方)の駐車場です
- 11:00　満観峰山頂着、休憩・昼食
- 12:00　学習会開始
- 16:00　花沢観光駐車場：解散

雨天の場合　雨天が予想される場合は中止とします。
前日 9/28(土)17:00 時点の天気予報で判断し、各会の理事宛に連絡します。

装備　原則：各会標準の日帰りハイキング装備
必須装備：レインウェア、地図、コンパス、ヘッドランプ、飲料水、昼食、行動食
推奨装備：三角巾、細引き、ツエルト、ほか非常時に備え各自で携行している装備

連絡先　**県連教育遭難対策部　後藤隆徳(裾野麗峰)　090-8956-9990**
ベルクシュタット委員　曽根崎大(浜松労山)　090-7317-1695

満観峰
学習会会場：満観峰山頂
※他の登山者が多い場合は
場所をずらして実施しま
焼津市
静岡市
駿河区
復路：鞍掛峠経
往路：日本坂峠経由
トイレあ
高草山
花沢の里**臨時**観光駐車場
こちらには車を駐めないでください
トイレあ
集合場所：花沢の里観光駐車場
※駐車スペースに限りがあるため相乗りでお越しください。
東益津排水隧道

高草山
満観峰
花沢山
交通案内
自主運行バス
WC
ようこそ
花沢の里へ
焼津市観光協会 TEL.054-626-6266
焼津市観光課 TEL.054-626-2155
60分
30分
40分
700m
2.0km
300m
タクシー
現在地
レンタサイクル
集合場所

裾野麗峰山の会・山行報告書

文・ＨＴ、ＧＴ　　写真・ＧＴ

山行NO　　山行ＮＯ．１８３３
日　時　　２０１９．０８．１７（土）晴・高湿
山　域　　西丹沢・屏風岩山（１０５１ｍ）東尾根
コース　　長泉６：００ー大滝橋発６：５７ー東尾根ー小ピーク８：３４ー標高点９６５と思われる標柱ー・９６５ー南尾根分岐９：４５ー屏風岩山（山名表示板なし）１０：０３～１８ー大滝峠上１０：５７～１１：２４ーランナー達ー沢遊びー大滝橋１３：０７
標高差　　上り　大滝橋約４５０ｍ～屏風岩山１０５１ｍ＝約６０１ｍ
　　下り　　〃
参加者　　ＧＴ、ＫＨ、ＧＭ、ＨＴ＝４名

暑い熱い一日だった

【ＨＴの報告】
今回は初めての記録です。屏風岩山を目指してバリエーションコース。
７：５０出発。歩いて直ぐの所から急登。合谷さんを先頭に登り１０分ぐらいで尾根にのった。
藪の中を進み、途中で聞こえる「ドーン！どーん！」の音。御殿場の演習此処まで聞こえるのかと吃驚した。
暫く尾根を歩いていたらピークがあり暫し休憩する。又、尾根にそって歩き１０：０５屏風岩山の頂上に着いた。とにかく暑かった。全身ビッショリ。頂上にしては何もなく寂しいなぁと思った。
さぁ、これから下り。

尾根に乗る

快適な尾根

大滝峠に向かって下り始めたら、直ぐに「たまごだけ」が足元に１本出ていた。収穫！
尾根にそって歩き、暫くすると休憩所があり其処で早目の昼食とする。ずーっと下り続け、途中でトレラン５～６名の団体と出合い少し談笑。「渡渉危ないから気をつけて」と注意を受けた。
渡渉何か所目の所で滑滝のようなかっこいい場所で水遊び。誘われるままにジャブジャブと、子供にかえったように戯れた。

これが正に夏の遊び。満喫した道中でした。一時、涼しくなったが車に着いたら下界の暑さにへとへとです。車を走らせて温泉でサッパリした所で予定変更して合谷宅でキャンプ。翌日１８日 AM ９：３０解散。

【ＧＴの報告】
西丹沢のバリエーション・シリーズ。屏風岩山は、以前、南尾根を上った。今回は、東に延びる尾根の研究。初心者は、地図読みの訓練を兼ねている。
暑い夏だが、暑い夏ほど心身を鍛える。７時５０分、大滝橋発。林道すぐのヘアピンから尾根に取りつく。ほどなく東尾根に乗った。植林地は少しヤブが五月蠅かったが、先は綺麗な尾根が伸びていた。
尾根は急登。早くも汗が飛び散る。ただ、前夜の雨で森はしっとり潤い、オゾンが溢れていた。途中、再び植林地があり、鹿柵があって、そこは日当たりが良く、草が背丈ほど伸びていた。自然林は、樹木が密で日光が届かず草は生えない。鹿の食害もある。

右上が屏風岩山

ナシをいただく

東尾根には、・標高９６５ｍに標高点がある。・＝標高店の表示。標高点とは、２万５千図作成時、特定の場所の標高を表すものである。ただ、標高点は二種類あり、小数点以下を表示は、現地測量による標高点。そうでないものは、写真測量の標高点という。
同じようなものに三角点がある。これは、高さでなく位置を表す点だ。・９６５は、小数点がないので、写真測量の点だ。ただ、写真測量とは、よく分からない。樹木に覆われた尾根で、どのように測量するのか？？
そんなことを考えながら、標高点はどこかで上っていった。すぐ標高点はあった。三角点標柱より小さいが、確かに標高点だった。
だが、変だった。標高点の位置がおかしい。標高点は、・９６５だから当然、標高９６５ｍになければならない。GPS で確認すると、標柱は、約９００ｍだった。そんなことがあるだろうか。
天下の国土地理院が標高点柱設置を間違った場所に埋めるだろうか？？！！しかし、現実は間違いなかった。GPS がない時代なら、正確に分からなかったかもしれない。
今はスマホでも明確な２万５千図が表示され、いまいる位置が正確に表示される。確かにスマホの現在位置は、９６５ｍより下だった。ただ、以前スマホで問題があったことがある。

つまり、現在位置の反映が、条件次第で「やや遅れる」現象だった。つまり、スマホを節電モードにしておくと、立ち上げた時、正確な位置を把握するには、ある程度時間が必要ということである。通過後、そんなことが脳裏をよぎった。この疑問を解明するためには、もう一度いくっきゃないね。

またまた快適な尾根

屏風岩山山頂　　タマゴダケ

本来の・９６５で標高点柱は調べたがなかった。（と思う）この先で、左から南尾根が合流する。今回の調査で判明したのは、東尾根は藪が二か所あるから、上るなら南尾根がよろしい。
これで屏風岩山の標高差がある、南・東方面の調査は終了。あと、北東面が一本残るが、ここはちょいと難しそうだ。（後で分かったが、小数点以下がない標高点は、標柱がない）
１０５０ｍのジャンクション・ピークをパスして屏風岩山着。ピークには、山名表示板・方向表示板がない。何か淋しいし、名無しの権兵衛さんで可哀そう。次回、付けようか。

そんなこともあり、ここは道が間違え易い。前回もジャンクション・ピークに着いたら、向こうから若い衆がやって来た。ここはバリエーションで、基本的に道はない。まず、よほどの好き者（研究家）でない限り、踏み込まない。
聞けば、「畔ヶ丸に行きます」だった。９０度道が違った。山頂から、こちらのがハッキリしているので、引き込まれやすい。スマホで確認するように勧めたら、「ああ、分かりました」と踵を返

した。このまま下ったら、大変なことになる。
時間が早いので、大滝峠に向かう。直下で「タマゴダケ」をゲット。山の季節は早い。大滝峠上で大休憩。少し早い昼食。自身はそれほど空腹でないが、伊東・富士の参加者は、朝食が早く空腹とのこと。歩行中も「お腹が減った、お腹が減った」と賑やか。（五月蠅い！？）
超大汗だったので、ビアを二本半いただいた。「半」は、ＧＭの一本の半分をいただいた。以前、槍の小屋で「生」を三杯やったことがある。大ジョッキで一杯＝１０００－。美味しく、養分の吸収が速いので元気が出る。本来、登山中の飲酒は、ご法度だろうが、これまでは問題ない。

大滝峠上（峠）

ちょっと前、赤岳の天望荘で缶ビアを求めたら「行動中の飲酒はダメ」で断られた。上記の槍の場合は、そこまでは言わなかった。正解はない。どちらも正論だ。判断するのは自身だろう。
ただ、毎日・毎月、事故情報をチエックしているが、当たり前だが、飲酒原因の事故は聞かない。もし飲酒が原因で事故の場合、山岳保険が給付されるかどうか・・・。

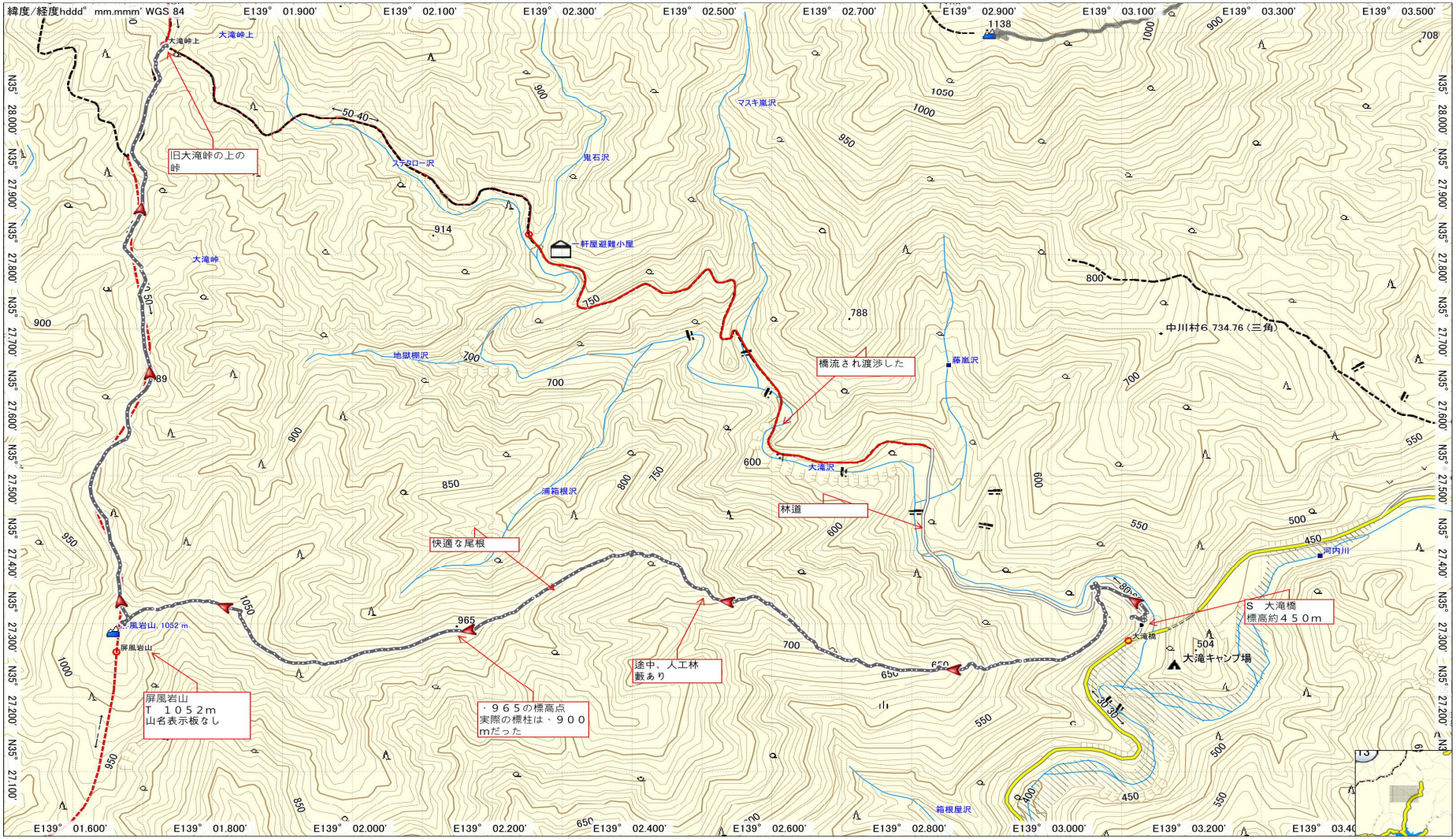
大滝峠上から下り。途中でランナーの若い集団に会った。が、「今日は歩きです」だった。この暑さでは無理は出来ない。「下の橋が流され渡渉です」の情報を得た。確かにそこは渡渉だった。普段はそんなことはないが、台風の水が、まだ引いていなかった。

途中、綺麗なスラブ（一枚岩）の沢があった。他の三名は、水遊びを敢行。体が熱を帯びているので、サイコーの爽やかさ。傍らで何処かのカップルが光景を眺めていたが、「ようやるな～」と「呆れ顔」だった。

綺麗なスラブ

ガラガラの林道を歩き、大滝橋着で終了。暑い熱い一日だったが、それ
なりに「心身はスッキリ」だった。暑い夏ほど、心身を鍛えなくてはいけない。夕方、ＧＭ会員の夏祭りに参戦。ただ、年々参加者が減るようで、淋しいですね。

（了）



2019/08/19 9:50:55

まったりハイキング報告書

文・写真　ＫＨ

日　時　　２０１９．０８．２１（水）霧雨
山　域　　富士山＝二ッ塚・上塚（１９２９ｍ）
標高差　　上り　洞門約１２８０ｍ～上塚１９２９ｍ＝約６４９ｍ
　　下り　　〃
参加者　　加藤、星、鈴木、浅野、一般２名＝６名

AM　７：００丁度、御殿場口２合目駐車場を出発。
砂礫の上は歩きづらい。
風は生暖かく涼しいとは言えない。

幕岩入口から幕岩方面に歩いて一番高い
尾根から下塚を目指して歩く。
歩き始めて１時間。
梨のもぐもぐタイムです。
汗ばんだ身体の内臓に冷えた梨が五臓六腑に
浸みわたる。

登る。
る・・・。

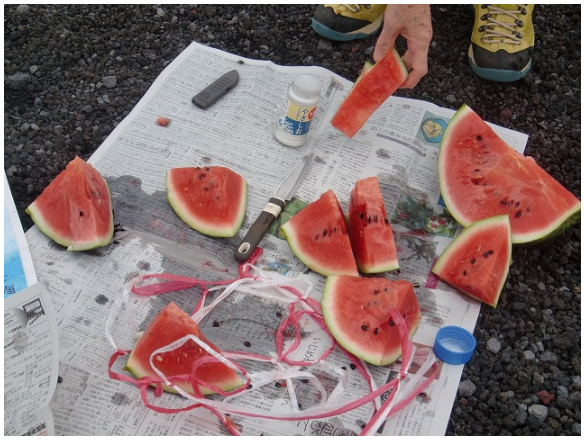
やっと下塚頂上着。
まだ９：３０だ。
写真を撮って上塚へ登りかえす。

上塚を大きく左に回り込んで・・・。

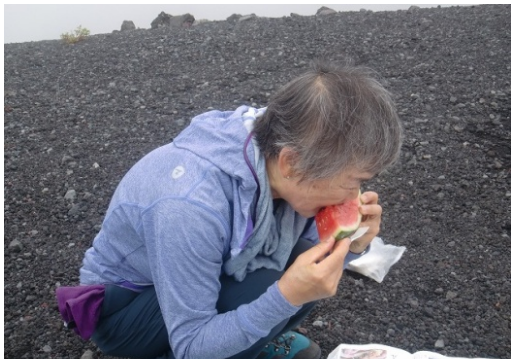
「フジアザミ」が沢山咲いていた。

えーっ！！！
此処から登るのぉ～！！！
西尾さん、得意の大歓声。
作者の耳には喜びの声としか
思えない。

上塚到着。
まだまだ元気だ！

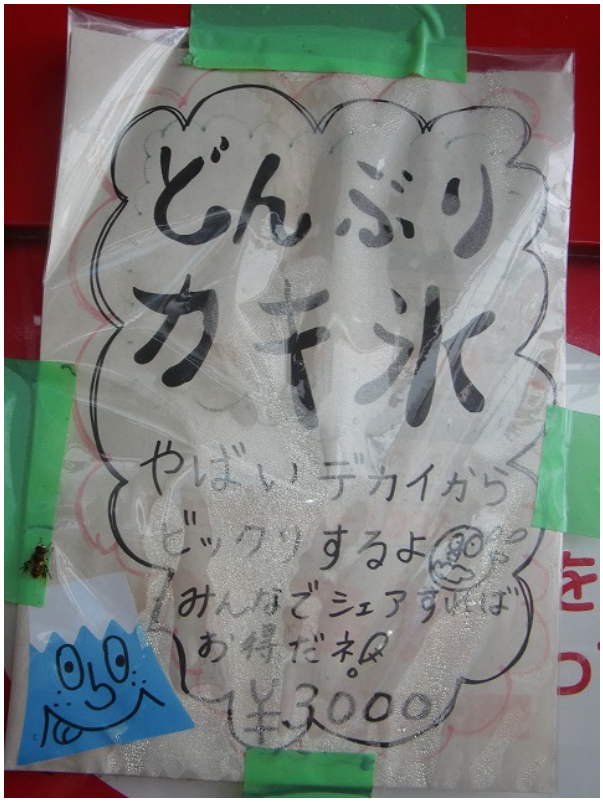


スイカの重さ８K。６人では食べきれない大きさだった。が、余っても困る。
美味しい部分は先に食べて後の端っこは割当制。残さず頑張った。



甘くて瑞々しかった。
見よ。この食べっぷり！！！

お昼が食べられなかった。１２：００駐車場着。お疲れ様でした



以上

個人山行報告書　　文・写真　　加藤

と　き　２０１９年　８月２４日（土）～２６（月）
コース　新穂高温泉～西穂山荘（泊）～独標～ジャンクションピーク～チャンピオンピーク～西穂高岳～赤岩～間の岳まで往復
参加者：加藤秀子、星　千代

ジャンダルムを目指して

　新穂高の無料駐車場に止めたくて朝５：００に富士を出発した。が、無料駐車場を過ぎてしまって「イイヤ」という事で有料に入れる事になった。
が、８月最後の土日という事もあって車は続々とくる。やっぱり早く来て良かったのかも。

　第一、第二の新穂高ﾛｰﾌﾟｳｪｲは片道@１，６００
荷物は６K 以上@３００　計１９００の支払い。
私は１２K、星さん１０K、重たいねぇ・・・。
臨時に乗り込み一番上の西穂高口に１０：００着。早すぎて山荘に昼前に着いちゃうね・・・ゆっくり行こうと言いながらも１１：３０には山荘に着いてしまった。

　山荘周辺は、イブキトラノオ、トリカブトの群落。テント場はこの時間で既に満杯。テントの周りは歩けないほど所狭しと並んでいた。
　手続きを済まし、外でお昼をしていたら私の隣で「何もすることがないから飲むしかない」とジョッキビールを５杯あけている単独男性がいた。
　星さんの隣では　３３歳の単独女性がテント泊で「荷物は１５K 以上ある。こんな重い荷物で明日ジャンダルムに行けるかなぁ」と不安そうな顔で話しかけてきた。なかなかの愛嬌(^o^)／で好感が持てる。皆、行き先はジャンダルム。無事通過して穂高岳小屋で乾杯のビールを皆で飲もうと意気投合。
寒い中フリースを着こんで PM４：３０まで談笑。

　夕食は５：３０。ハンバーグをメイン。
私的には豪華な夕食で汁とご飯を２杯お替わりして大満足で６：３０には就寝。
部屋は女ばかりの１４人部屋。足の踏み場もない。

入口に寝ていた私は何時踏まれるかとヒヤヒヤもん

早朝、３：００からザワザワ音で目が覚めた。昨夜早く寝たので寝覚めがいい。星さんを起こして、ご飯はお腹が空いたところで食べればいいと、３：３０には出発。

ヘッドランプの明かりで丸山を目指す。森林限界を過ぎてハイマツ帯になると西穂独標を登る先行者の明かりがチラチラ見え隠れし何故か心強く感じられた。

穂高黎明

黙々と登って穏やかな丸山山頂をだいぶ過ぎた辺りで空が白み始めた頃、風も出始め急に肌寒くなってきた。

この先から岩の連続。三点支持で慎重に足を運ぶ。独標、ピラミッドピーク、チャンピオンピークと危ないところは星さんと距離をあけず、常に声掛けをし、星さんのサポートをしながら２９０８．８m の西穂高岳に順調に到着。年配者を連れた４人組のパーティが西穂からの下りにザイルを出し先行した。

後ろに続き岩を良く確認しながら慎重に間の岳を過ぎた。少し下って鎖を掴んでトラバースした。

その先で、先ほどの４人組が待機していた。「ザイルを使うので時間がかかるから先に行って下さい」と言う。岳沢方面に凹型の垂直の岩場に鎖が垂れていた。落ちたらアウトだ。星さんに、「何があっても鎖から手を離さないように」と声をかけ、星さんが一歩下がる毎に一歩下がり、鎖が終わった所でトラバースの岩場に身を寄せ、星さんが完全に下りるのを待った。

西穂でニッホット

　星さんが降り切ってトラバースの岩場に足を一歩入れるか入れないかの瞬間、「うわぁ～！」上から悲鳴が飛んできた。手足をバンザイしたような黒い塊が星さんの頭上を、岩に何回かバウンドを繰り返しながら遥か下に落ちていった。
何故かわからず、見ていた私も岩にバウンドするたびに悲鳴をあげていた。
　３００m 落ちただろうか。２人組だったのか。連れの人が声をかけたが身動きしない。

Ｈさん、イイね～！

　何回も声をかけてやっと、「右腕を骨折
したらしい」と返事が返ってきた。上にいた４人組がヘリの救助要請をしてくれた。
　私たちは現場で目撃し、あわや巻き添えをくったかもしれないと思うとショック状態だった。星さんは足の震えが止まらずもう行けないと顔面蒼白。
　私は、遭難者が生きていたことが確認できると他人事ながら安堵で涙が出た。

美しく厳しい岩稜を上る

救助のヘリが飛来

行くも辛い。帰るも大変。そんな場所からでも帰ることにした。
そして、何処から落ちたのかと確認する。狭い岩の上では４人組がいるだけでも
きつい場所だ。岩の上を通らず、草付きに足を乗せてその拍子に抜けおちたらしい。
むき出しになった土が生生しさを伝えていた。

それから途中で気を鎮めながら、身体を暖めながら、きた岩峰を登り返す。
三島労山の芦川さんに会った。
二言、三言、言葉を返し別れる。
やっと、ジャンクションピークにさしかかる頃、ヘリの音が聞こえ救助していった。
ヘリが来るまで約１時間半掛っただろうか・・・。
こんなに時間がかかったんじゃ、助かるものも助からない事もあるかもね・・・と、
申しわけないが、一方的に思ってしまった。

ロープウェイを降りて、昼ご飯を食べて
さぁて、お風呂は？
やっぱり、「新穂高の湯」でしょう。
此処は昔から、穂高を登った岳人が湯に浸かったと聞いている私も一度入りたいと常々思っていた。
行ってみた。橋の上から覗いてみると、男性６人が既に入っている。
どうしようか・・・迷っていると又、男連れ

７人が来た。やっぱり止めようと他の場所に移動。そして、折角だからと高山の市場まで足をのばし、夜遅くなったので「あさぎり道の駅」でテント泊。寒くて寒くて辛かった。

相方の事故は辛い。事故の実際を目の当たりにして実感した。暫くは人を誘うことは出来ないと思った。今回は自分にも考えさせられる出来事に遭遇した。

天空のピーク

（了）

裾野麗峰山の会・山行報告書

文・ＩＫ　　写真・ＧＴ

山行NO　　山行ＮＯ．１８３４

日　時　　２０１９．０８．２４（土）晴・湿度やや減

山　域　　西丹沢・屏風岩山（１０５１ｍ）南尾根～畦ヶ丸（１２９２ｍ）・南東尾根～上権現山（１１３８ｍ）・東尾根

コース　　長泉６：００－西丹沢自然教室（自転車デポ）－時之栖発７：４７－笹子沢バンガロー裏－つちあけび観察８：３１－標高６６９ｍ８：５３－東尾根分岐９：４８－屏風岩山１０：１５－大滝峠上１０：５５－畦ヶ丸避難小屋１１：４２～１２：３４－畦ヶ丸１２：３７－南東尾根－コル１３：５４－上権現山１４：１７－東尾根－西沢１５：１９－西丹沢自然教室１５：２７－自転車で車回収－時之栖（温泉）

標高差　　上り　時之栖約３５０ｍ～屏風岩山１０５１ｍ＝約７０１ｍ
　　最低コル約９５０ｍ～畦ヶ丸１２９２ｍ＝約３４２ｍ
　　東南尾根コル約１０３０ｍ～上権現山１１３８ｍ＝約１０８ｍ
　　合計＝約１１５１ｍ
　　下り　屏風岩山１０５１ｍ～最低コル約９５０ｍ＝約１０１ｍ
　　畦ヶ丸１２９２ｍ～上権現山コル約１０３０ｍ＝約２６２ｍ
　　上権現山１１３８ｍ～西丹沢自然教室約５５０ｍ＝約５８８ｍ
　　合計＝約９５１ｍ

参加者　　ＧＴ、ＩＫ、ＧＭ＝３名

西丹沢のバリバリバリ・コース

6：05　竹沢種苗店で後藤さんの車に乗る。裾野・三嶋神社近くのセブンイレブンで合谷さんをピックアップ。西丹沢ビジターセンターに自転車をデポし、丹沢ホテル「時の栖」入口に駐車。
今回はバリエーションルートのため、私は 2 万 5 千図、合谷さんはスマホアプリ、後藤さんは GPS と三者三様の方法でルートを確認する。
7：47　スタート（標高 350m）。バンガローの裏から登る。先週 8/17 のコース（井上は不参加でだった）の沢を一つ越えた南側の尾根である。植物保護網の鹿柵に沿って登る。
8：57　457m ピーク。ここから沢の音を聞きながら尾根を登る。気温は 8 月にしてはそれほど暑くない。先週は暑さのため畦ヶ丸は撤退したとのこと。時折、涼しい風が通り抜け心地よい。
途中、ツチアケビを発見。高さは 50cm くらいで、赤いトウガラシのような実がいっぱいぶら下がっている、おもしろい植物。また、まだ大人にはなっていないだろうイノシシが走り去っていくのを見た。鹿と思われる鳴き声も聞こえる。580m の小ピークで尾根を間違えそうになった。
2 万 5 千図だけだと間違える。コンパスは必要だ。合谷さんのスマホで確認し右に折れた。間違えやすい場所はあらかじめ頭に入れて、その都度確認するようにしないと、見た目の尾根に流されてしまう。2 時間が過ぎ、私はバテ始め足が遅くなった。

ツチアケビ　　鹿柵がある

10：17　1051.3m　屏風岩山頂上。＋701m を 2 時間 30 分なので遅いほうだ。10 時までに屏風岩山登頂すれば、当初予定していた畦ヶ丸山の南西尾根バリエーションルートを行くはずだったが、まっすぐに北上する普通のルートになった。
先週問題になった屏風岩山東 750m 地点にある地図上の 965m ピークと GPS 表示の 900m の違いについての確認も中止した。後藤さんが国土地理院に確認したところ、地図上の小数点がない標高表示は航空測量、小数点表示は実際の測量ということであった。そのため標石はない。航空測量だと不正確なのだろうか。そもそも樹木がいっぱいのところは地表など見えないので、ステレオ撮影でもちゃんとわからないような気がする。
ここから畦ヶ丸山まで尾根歩き。東海道自然歩道との分岐にでる。ここから先は階段などが整備されている。やっと人の手がはいった道になった。が、疲れた脚に階段はさらにきつい。畦ヶ丸まで +330m。
12:00　1280m 畦ヶ丸避難小屋到着し昼休憩とした。ここまで累計標高差は約 1031m で 4 時間 13 分。1 時間当たり 245m は遅い。ビール 2 本と栄養ゼリー2 つを飲む。食欲はない。後藤さん畑のおいしいトマトをいただいた。若い女性二人が畦ヶ丸山頂側から到着した。そのうちの一人は、子供を旦那さんに預けての登山とのこと。理解ある旦那ですね。
畦ヶ丸から南東尾根で上権現山に行くか、一般ルートでひたすら下山するか話し合った。私の足はもう登れないと言っているが、同じ日に会の女性二人が泊まりで穂高に行っており、その二人に「えーっ、一般ルートで下ったのー？信じられなーい。」といわれないように、歯を食いしばってもう

これは境界見出標　　屏風岩山三角点

綺麗な尾根

一度登ることを選んだ。

12:37 午後の部開始。畦ヶ丸山頂上はすぐ隣。畦ヶ丸山頂上では 2 名が休憩していたが、通常のルートでないところから降りようとする私たちを見て「ぎょっ」としていた。地図と GPS とスマホで何度か確認する。わかりにくいところもいくつかあった。何回かは間違えて戻った。

1079m ピークは非常に分かりにくいところだった。ナイフリッジな痩せ尾根や、ずるずる滑る斜面など緊張するシーンもいくつか。さすがはバリエーション。

14:00　1010m 上権現山コルの分岐到着。左側にちゃんとした一般道があった。ここから本日最後の

登りの修行+130m が始まる。足の痛みやつらさを考えないようにして足を出す。考えないで足を出す。考えるとつらくて止まってしまう。14:20　1138m　上権現山登頂。+130m を 20 分なので割と早い。止まらないことが大切。山頂は一人用ベンチが 6 個ぐらいあり、その南側は開けており、丹沢湖が一望でき絶景だった。累計標高差は 1161m。きついのは当然。

避難小屋

昼食

畔ヶ丸頂上

難しい下降

ここからは一気に下る。急な下りで、下りなのに大汗をかく。下りでも、地図、GPS、スマホで下りる尾根を選ぶ。下り標高差 578m/距離 1125mで平均 45 度の傾斜。
後藤さんから何度も靴のエッジをきかせ横歩きをするよう注意が発せられる。最後に沢を渡る場所があり、合谷さんは元気よく水に入って渡った。私は後藤さんからストックを投げて貸してもらい、石の上を渡る。最後はジャンプが必要だが、膝がカクカクと笑っていた。えいっなるようになれとジャン～プ。ちょっと濡れたが何とか飛び渡れた。
15：30　560m　西丹沢ビジターセンター着。山での行動時間は、休憩以外で午前 4 時間 13 分、午後 2 時間 53 分で、合計 7 時間 6 分。
後藤さんは自転車で、直線距離で 4.3km 先の駐車場までダウンスラローム。スキーのようで快適だったとのこと。途中、畦ヶ丸避難小屋で会った女性 2 人と再会したとのこと。さらに車を回送するときにバスに乗っている 2 人にまた見たらしい。1 日に 3 回も会うなんて。合谷さんは後藤さんのリュックを体の前にかけ、私と 20 分道路を歩き、後藤さんの車が早く戻って来るのを待った。

丹沢ホテル「時之栖」で入浴。休日は 800 円だが JAF 割引で 600 円。平日だとさらに 200 円安い。気持ちの良い風呂で幸せを感じた。

上権現山コル

上権現山頂上

快適な東尾根の下降

下土狩の焼き鳥三楽に行って生だ、豚肉だと盛り上がったが、時間が遅いのでおとなしく通常解散に変更。家に着いたのは 18:30 ごろだったか。
今回、地図読みが必須ということで個人的に悩むことがあった。老眼の進行である。眼鏡だと大汗

許せないマーキング

西沢の渡り

西丹沢キャンプ場

転がっていた境界見出標柱

をかく私は前が見えなくなるので、山ではコンタクトをしていた。コンタクトだと老眼のために地図が読めない。百均で老眼鏡を買ったが、地図を見るたびに取り出すのは時間がかかる。そこで、裸眼のままで登ったらどうなるか実験をしてみた。裸眼なら地図はばっちり見える。
常に左手に地図を持ち、現在地を親指で押さえて示し、歩きながら見る。裸眼でもまわりの地形もわかるし問題はない。不安があったのは下りで、上りは足を置く先は、足より上にありより近いところを見ているが、下りは足元より遠い先の状況を先読みして把握する必要があるのでちょっと心細い。暗くなるとより見えにくくなるのでさらに問題だ。
今後は行く山の難易度や行動時間によって変えることになりそう。どなたか、よい方法をご存じないですか？最後にもう一つ、体重をあと 5kg 落とさないと、きっと次回もつらい。　　（以上）

その他の記述（ＧＴ）

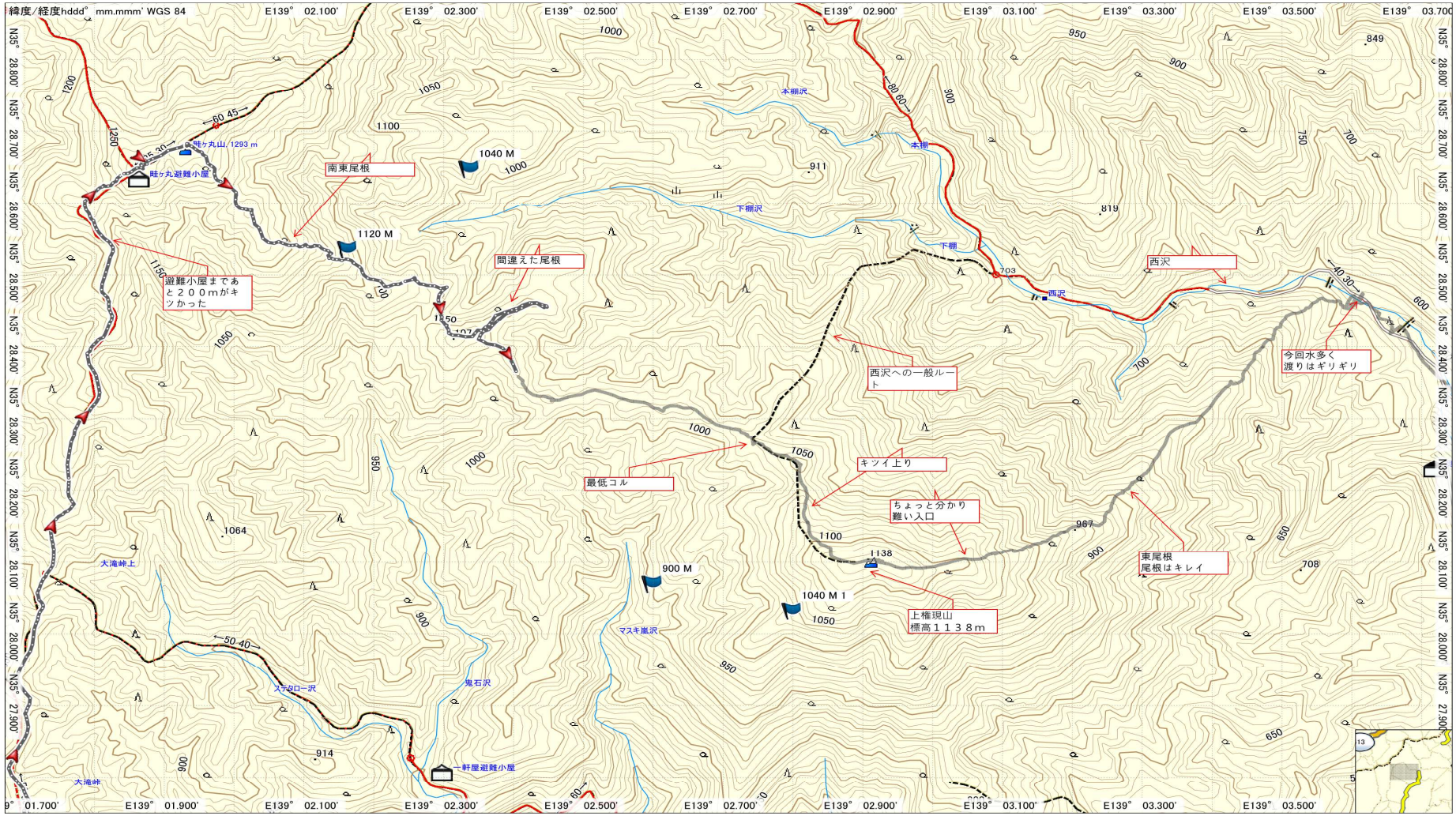
１．夏は厳しいコースだが、冬はもう少し楽だろう。近場でイイ訓練になる山。
２．ツチアケビは、久しぶりに見たが、意外だが「ラン科」植物。
３．畦ヶ丸避難小屋を覗いたが、煙の臭いが酷く、暗いのでイマイチだった。
４．上権現山・東尾根に写真のマーキングがあった。前回、６/１は無かった。一般道でないバリエーションは自然のままにすべき。自信がないならバリは止めろ。許せない行為である。
５．標高差等は、あくまで「約」で表現しました。

Japan Topo 10M Plus V3
CanvasMapple Co., Ltd 2014
Garmin Corporation 1995-2014

2019/08/25 9:47:50

0 m　100 m　200 m　300 m　400 m

GARMIN.


緯度/経度hddd° mm.mmm' WGS 84
E139° 02.100'
E139° 02.300'
E139° 02.500'
E139° 02.700'
E139° 02.900'
E139° 03.100'
E139° 03.300'
E139° 03.500'
E139° 03.700'
N35° 28.800'
N35° 28.700'
N35° 28.600'
N35° 28.500'
N35° 28.400'
N35° 28.300'
N35° 28.200'
N35° 28.100'
N35° 28.000'
N35° 27.900'
E139° 01.700'
E139° 01.900'
E139° 02.100'
E139° 02.300'
E139° 02.500'
E139° 02.700'
E139° 02.900'
E139° 03.100'
E139° 03.300'
E139° 03.500'
鞍ヶ丸山, 1293 m
鞍ヶ丸避難小屋
南東尾根
1040 M
1120 M
間違えた尾根
避難小屋まであと２００ｍがキツかった
本棚沢
本棚
下棚沢
下棚
西沢
西沢への一般ルート
今回水多く渡りはギリギリ
最低コル
キツイ上り
ちょっと分かり難い入口
東尾根尾根はキレイ
上権現山標高１１３８ｍ
1040 M 1
900 M
大滝峠上
大滝峠
マスキ嵐沢
鬼石沢
ステクロー沢
一軒屋避難小屋
Japan Topo 10M Plus V3
CamaxMapple Co. Ltd 2014
Garmin Corporation 1999-2014
2019/08/25 9:47:50
0 m
100 m
200 m
300 m
400 m
GARMIN.

山々をパチリ

８月９日（金）
入笠山　浅野・ほか

＊山行記録、募集しています。写真だけでも OK で～～～す！！！

日本勤労者山岳連盟
静岡県勤労者山岳連盟・東部ブロック
裾野麗峰山の会（愛称・れいほう山の会）

会報「れいほう」
第２５期・７巻
NO.２１７　　２０１９・９月号

連絡先　静岡県駿東郡長泉町下土狩１５４１－１２　徳山荘
０９０－８９５６～９９９０　　０５５－９８６～６０７５

HP　http://susono-reihou.babyblue.jp/